

厚木市(あつぎし)



自治体概要

人口：223,092人(令和7年2月10日現在)
0～14歳 23,915人
15～64歳 140,117人
65歳以上 59,060人
常勤保健師数：23人
(女性24人・男性1人)

あゆコロちゃん
厚木市マスコットキャラクター
共働き子育てしやすい街ランキング 2023県内 **1位**
LIFULL HOME'S
借りて住みたい街ランキング 2024(首都圏) **1位**
全国3都市目のセーフコミュニティ認証都市
普通交付税はS38年から連続不交付
シロホルモンは2008年B-1グランプリで優勝

厚木市の保健師活動の魅力

現在、保健師は2部5課に配属され、まさに、ゆりかごから高齢者まで、様々な場面に関わっています。市町村ならではの地域住民に近い立場で、一緒に健康づくりをしませんか？

<主な配属先>

・こども家庭センター

- 発達支援係：療育相談担当。お子さんの発達や心配事について一緒に考え、健やかな成長を応援する仕事ができる！
- こども保健係：母子保健担当。こどもの健診、家庭訪問など、妊婦やこどもがいる家庭がより健康に過ごせるように支援ができる！
- こども相談係：こどもの虐待予防担当。育児に悩むご家庭への支援に関する仕事ができる！

・地域包括ケア推進課

・介護福祉課

高齢社会を住み慣れた地域で自分らしく過ごせるよう、
地域包括ケア社会の実現に向けた仕事ができる！

・健康医療課

成人保健担当。がん検診や自殺対策、未病対策、健康相談、健康教育(ズンバやバレトン等の運動講座も!)など、成人期の健康に関わる仕事ができる！

・国保年金課

生活習慣の改善(特定保健指導)に関する仕事ができる！



市章はあつぎの3字と鮎3尾をもって「あ」の字型を図案化し、市民の和合と発展を象徴しています。(市ホームページ参照)

活動風景



あゆコロちゃん体操(市民健康体操)
を市民の方と広めています！



育児支援事業では相談や赤ちゃんの計測を行っています。

先輩保健師からメッセージ

こども家庭センター(入庁7年目)

私は、新卒で厚木市に就職し、現在はこども家庭センターで、母子保健分野の地区担当の個別支援、幼児健康診査に関わっています。

就職前は、臨床経験も子育て経験もない自分が、行政保健師として住民の方の力になれるのかと不安がありました。しかし、就職後、周りの先輩保健師が分からないことがあれば、親身になって丁寧に教えてくださり、相談に乗ってくださいました。

また、幼児健康診査など、他職種と協同して業務にあたることが多く、それぞれの視点を共有し、今後の支援について相談し合うことができるため、とても勉強になります。

厚木市のイイところは、何と言っても「職場のアウトホームな雰囲気」です！！

一緒に、厚木市で共に成長しながら、保健師活動してみませんか？

問合せ

採用担当課

総務部職員課

厚木市中町 3-17-17

☎ 046-225-2070

こども家庭センター

健康こどもみらい部こども家庭センター

厚木市中町 1-4-1

厚木市保健福祉センター 2階

☎ 046-225-2597

✉ 2300@city.atsugi.kanagawa.jp

厚木市

検索

#nice atsugi
も見てね！！